

# 埼玉県における騒音職場の管理の実態

埼玉産業保健推進センター

和田 攻  
○武石容子、宇佐見隆廣  
植田康久、星野ゆかり  
兎島俊則

## 目的

- 騒音職場の労働者は100万人以上
- 騒音健診の受診者は20万人強
- 騒音性難聴の労災認定は500件前後



- 騒音性難聴には有効な治療法がなく、三管理による予防が大切

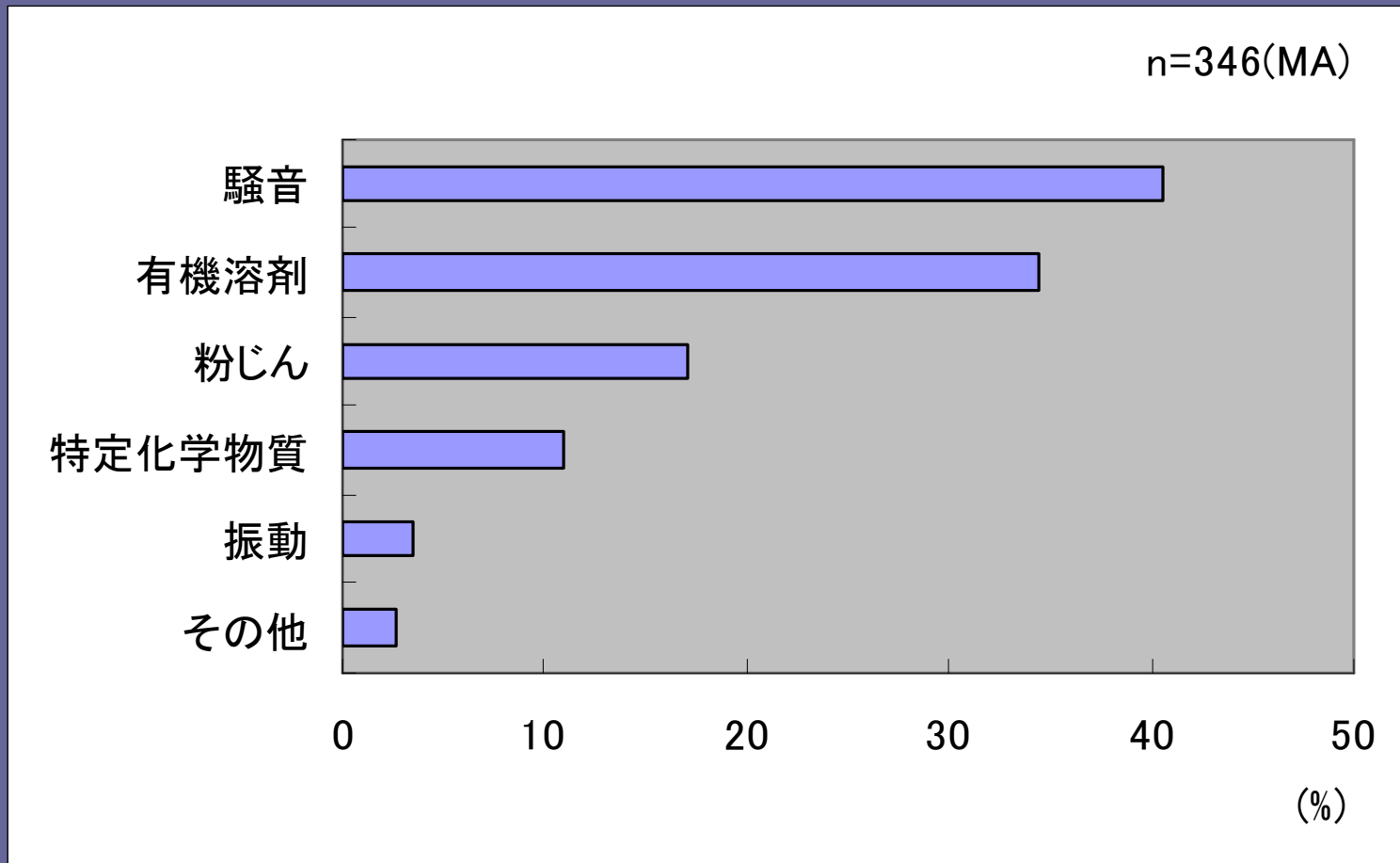


- 埼玉県の管理状況を把握

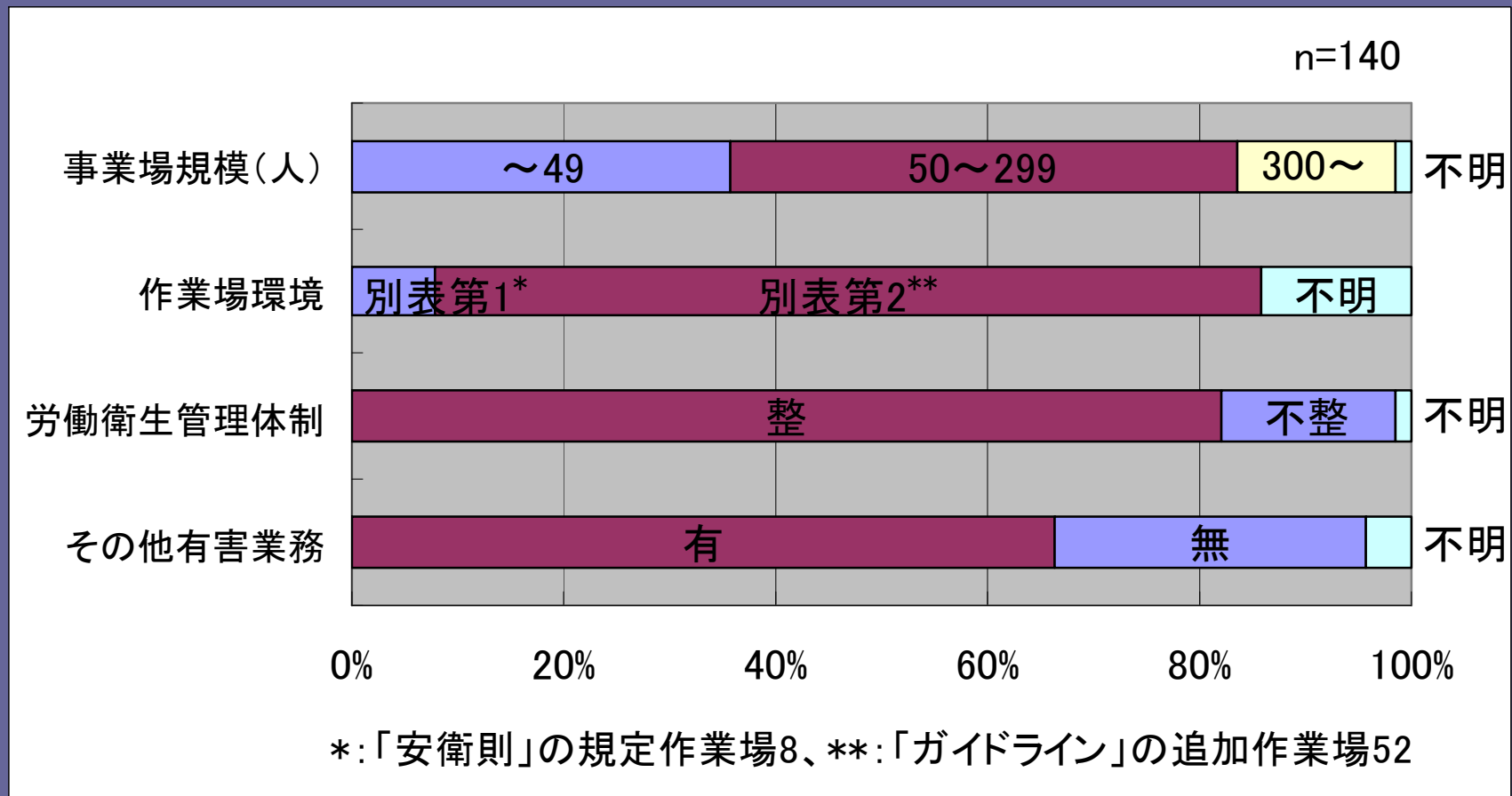
## 対象と方法

- 平成17年度全国労働衛生週間  
浦和、大宮、所沢地区労働基準協会会員事業場より製造業1000事業場に、郵送による「ガイドライン」に基づいたアンケート調査  
↓
- 回答を得られた346事業場  
↓
- 騒音職場を有する140事業場を解析対象

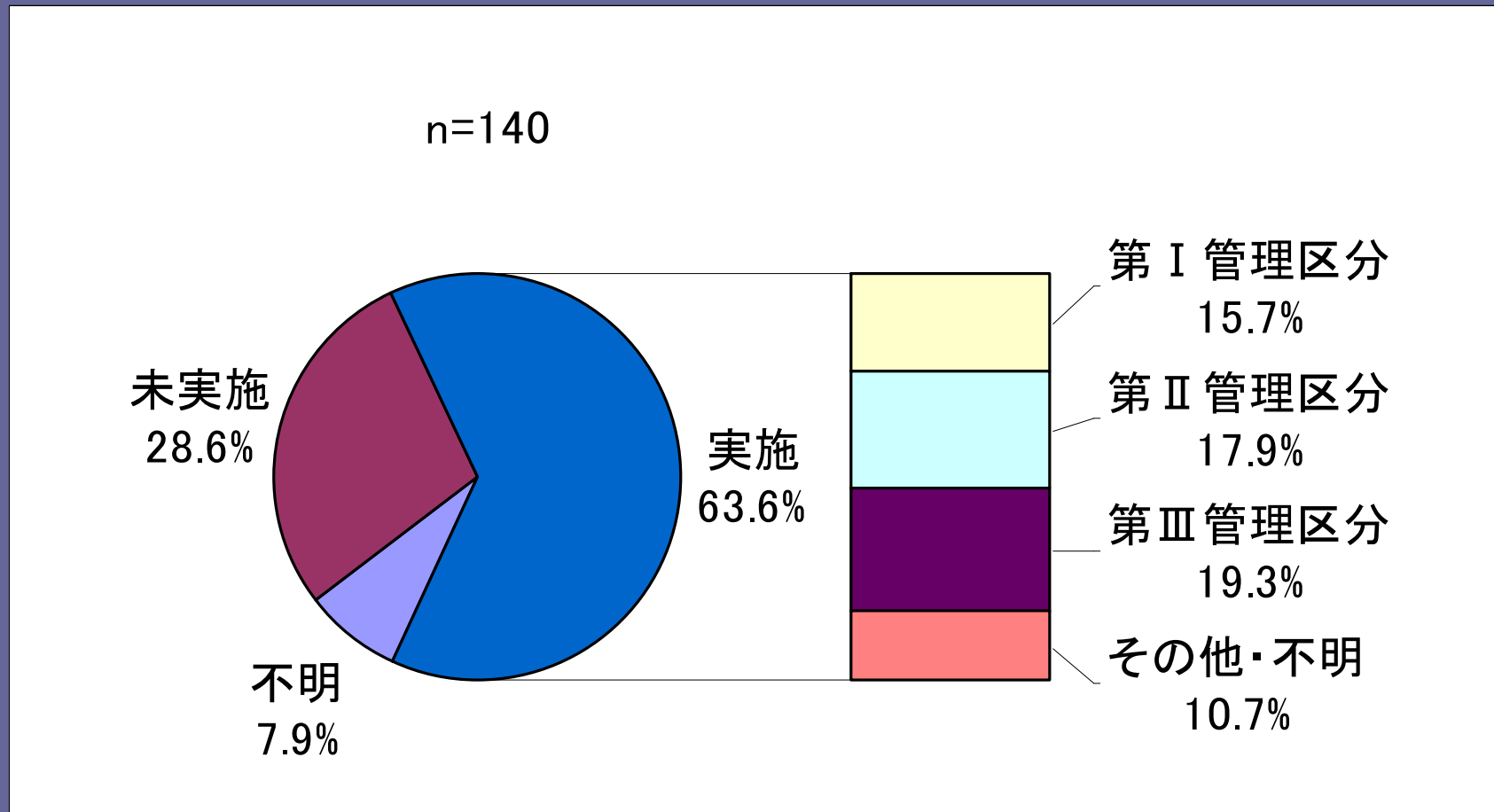
# 製造業における有害業務



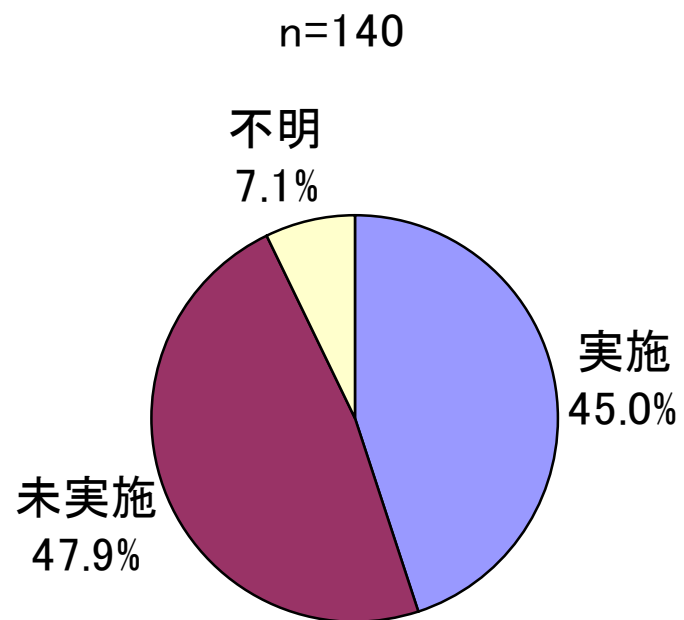
# 騒音職場の背景



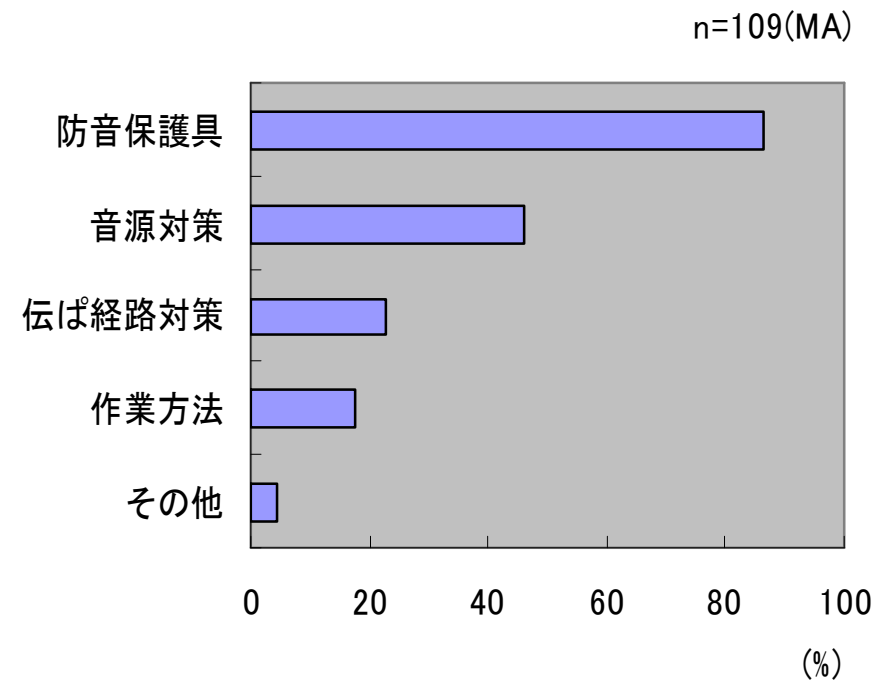
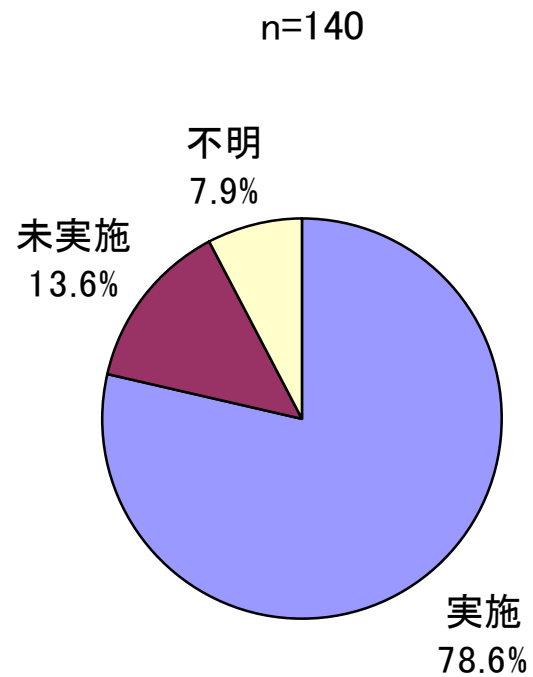
# 騒音測定の実施状況



# 騒音表示の状況

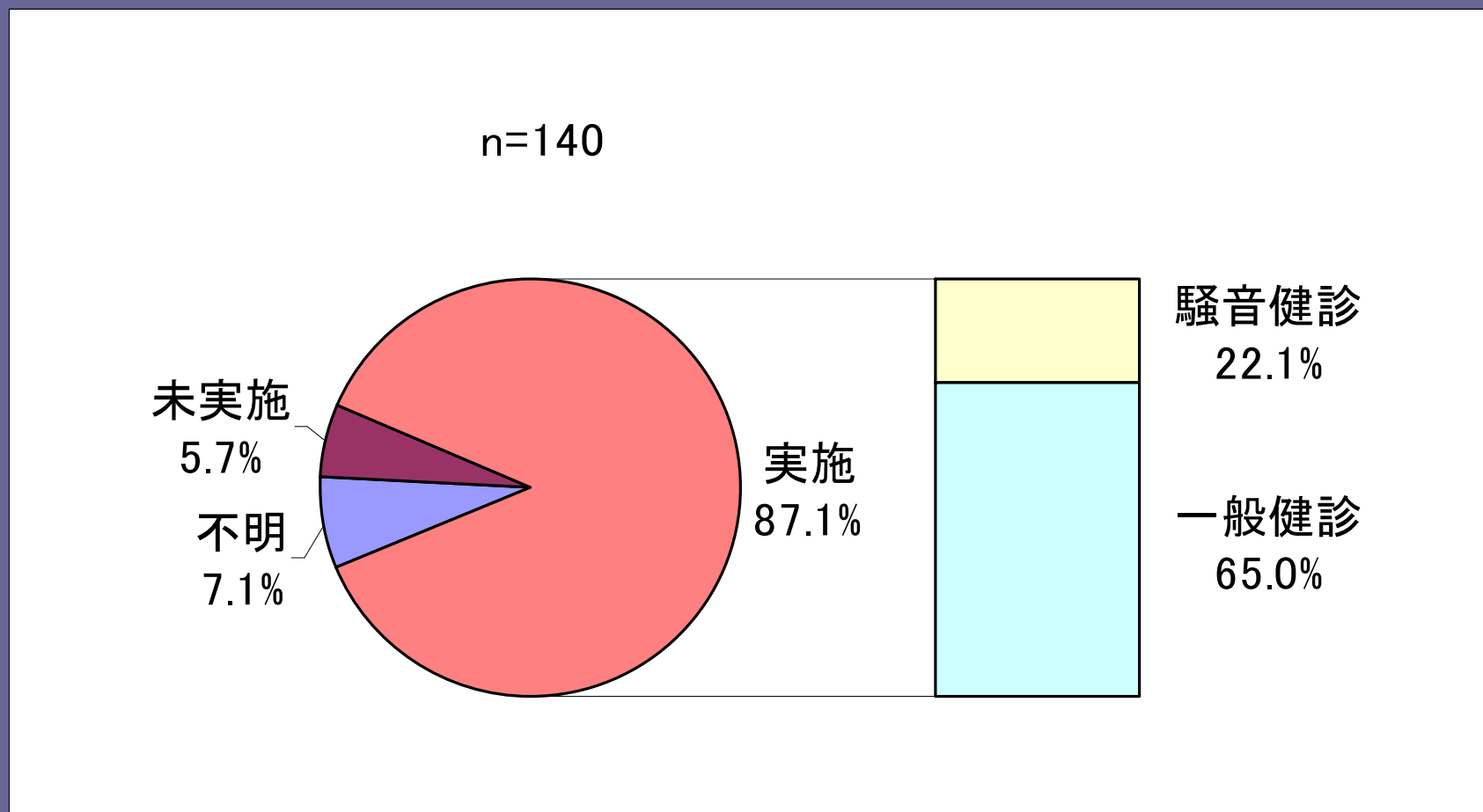


# 騒音対策の実施状況

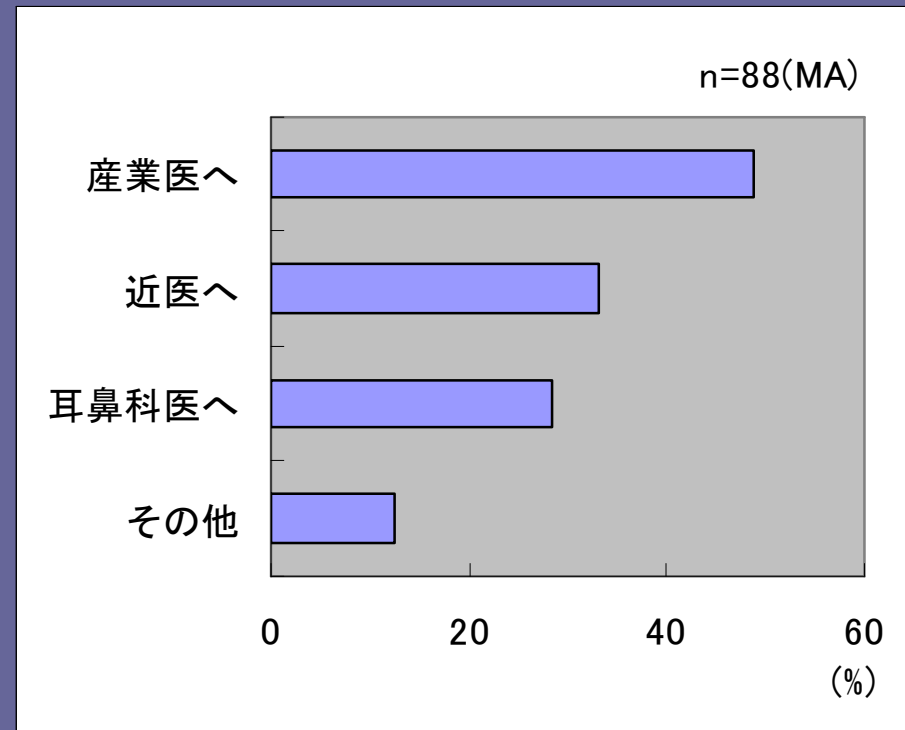
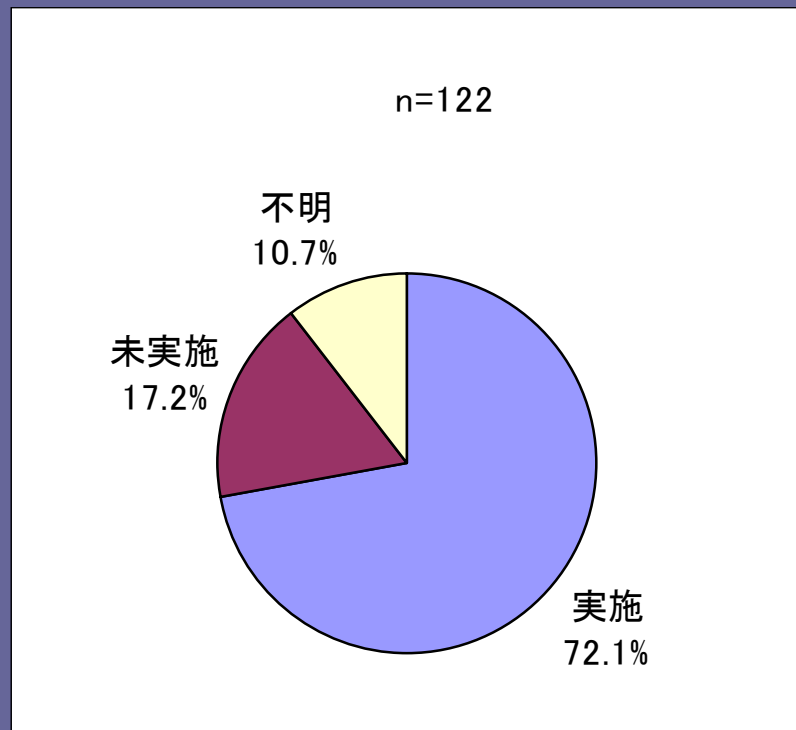




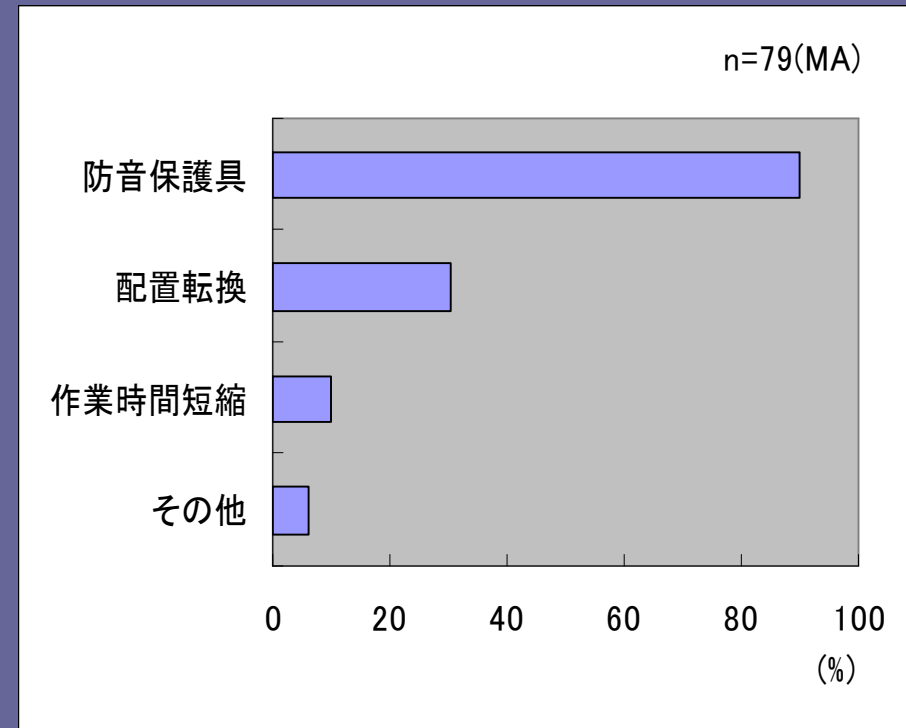
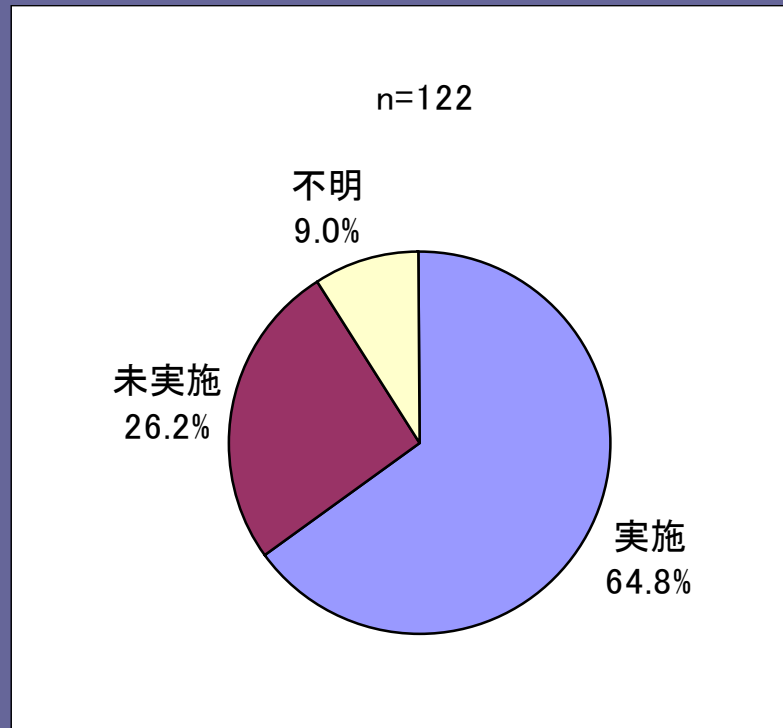
# 健康診断(聴力検査)の実施状況



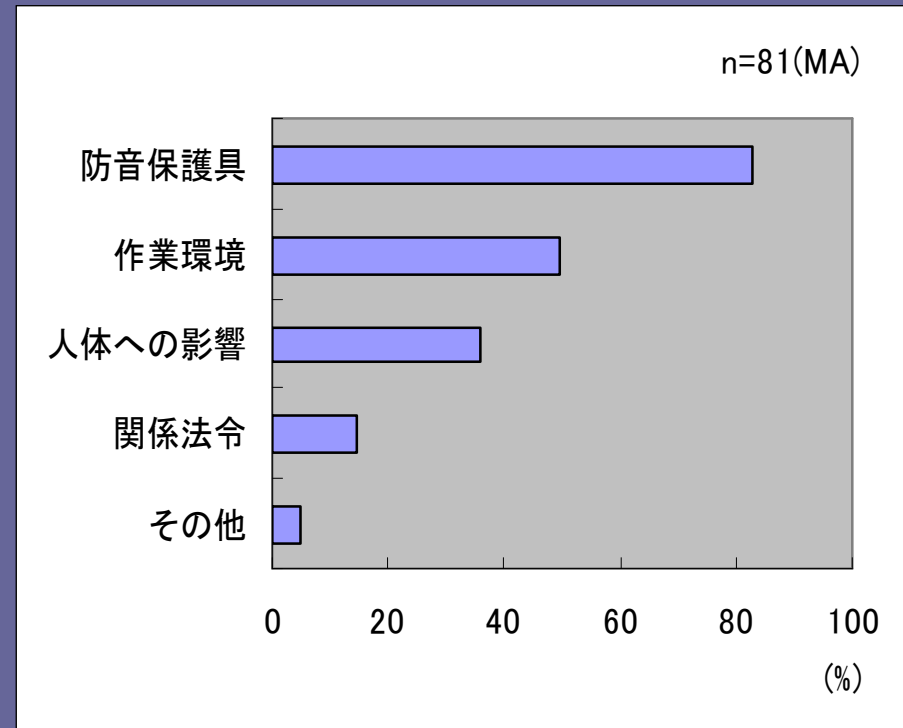
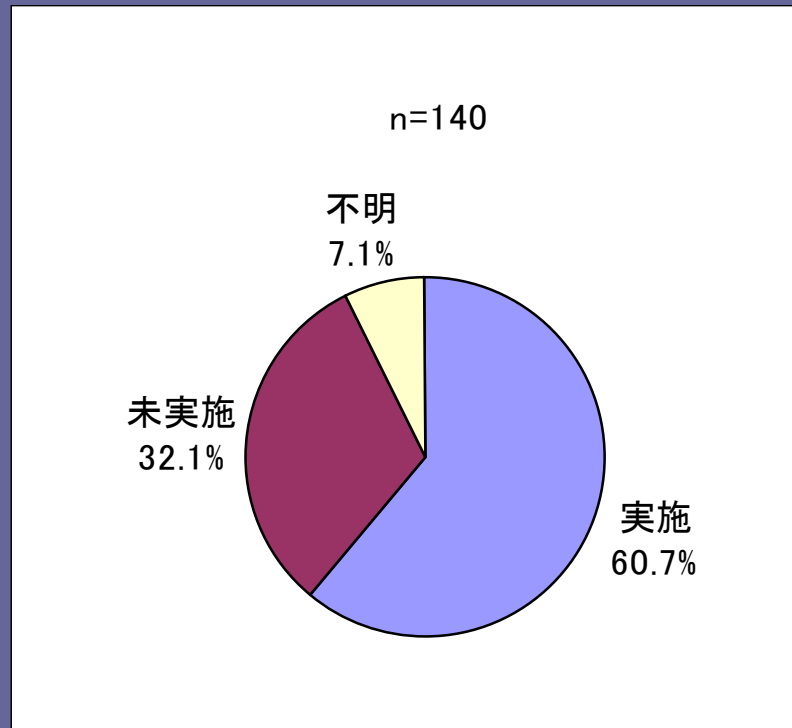
# 保健指導(受診勧奨)の実施状況



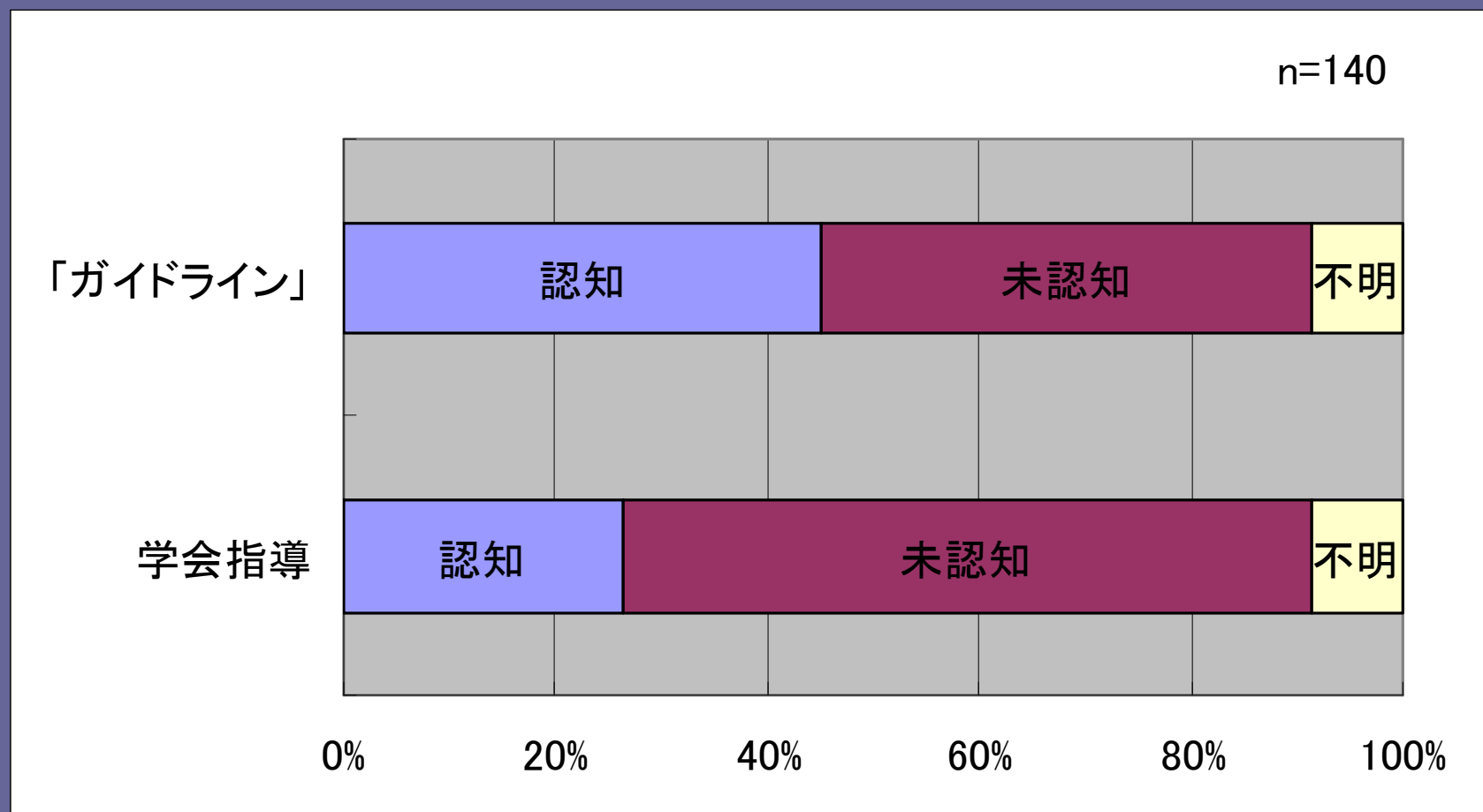
# 就業上の措置



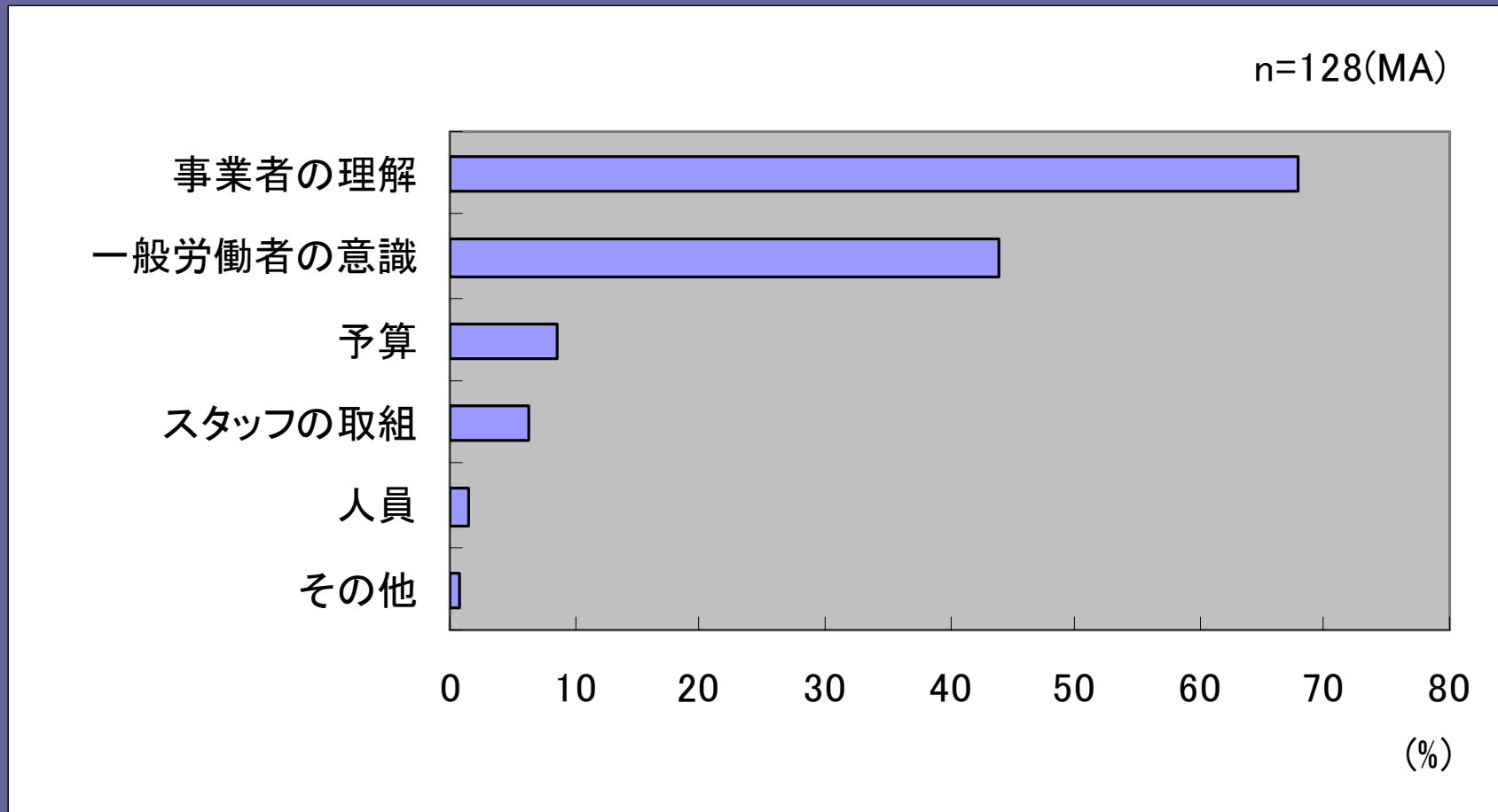
# 労働衛生教育の実施状況



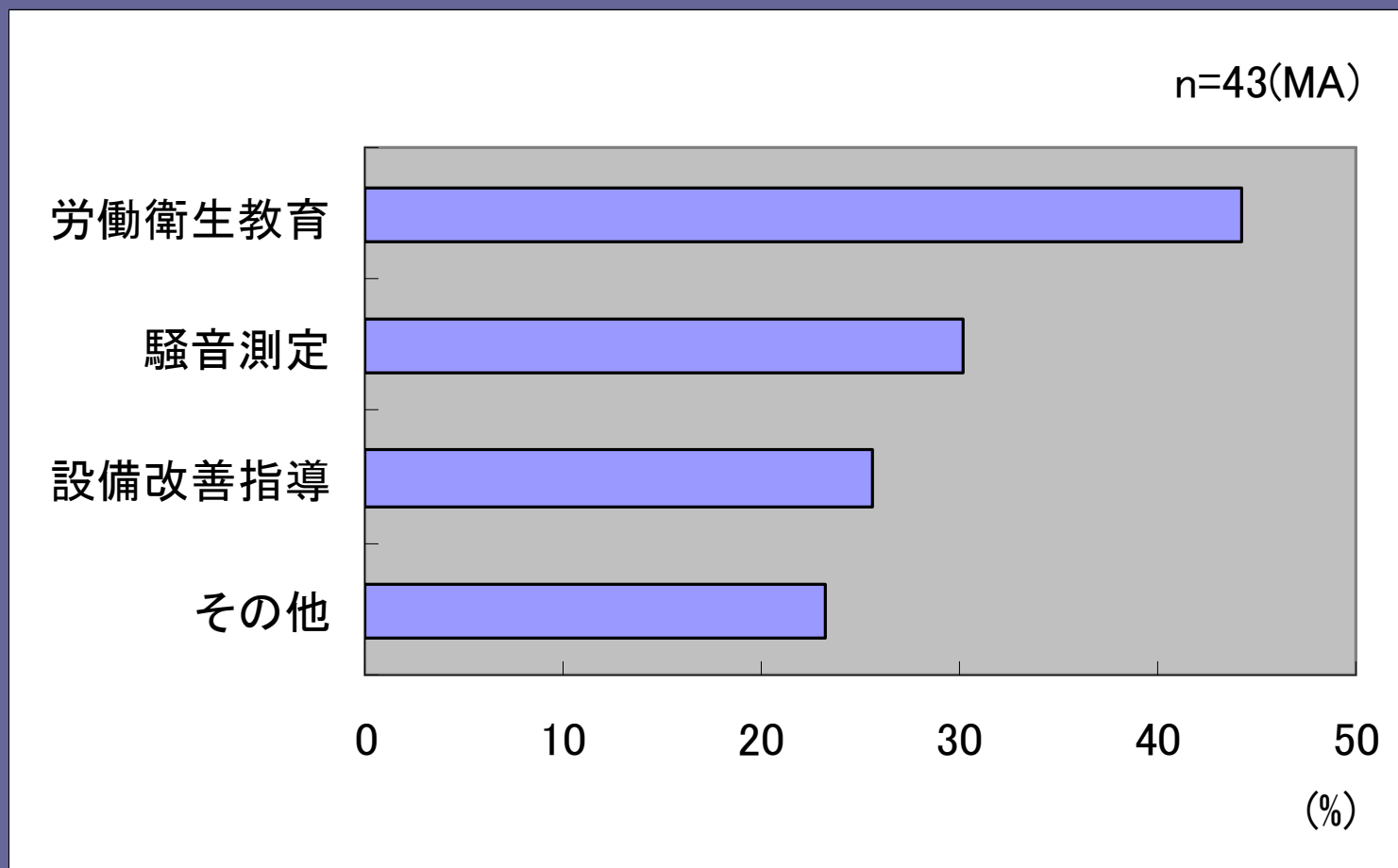
# 「ガイドライン」と「日耳鼻学会指導」の認知状況



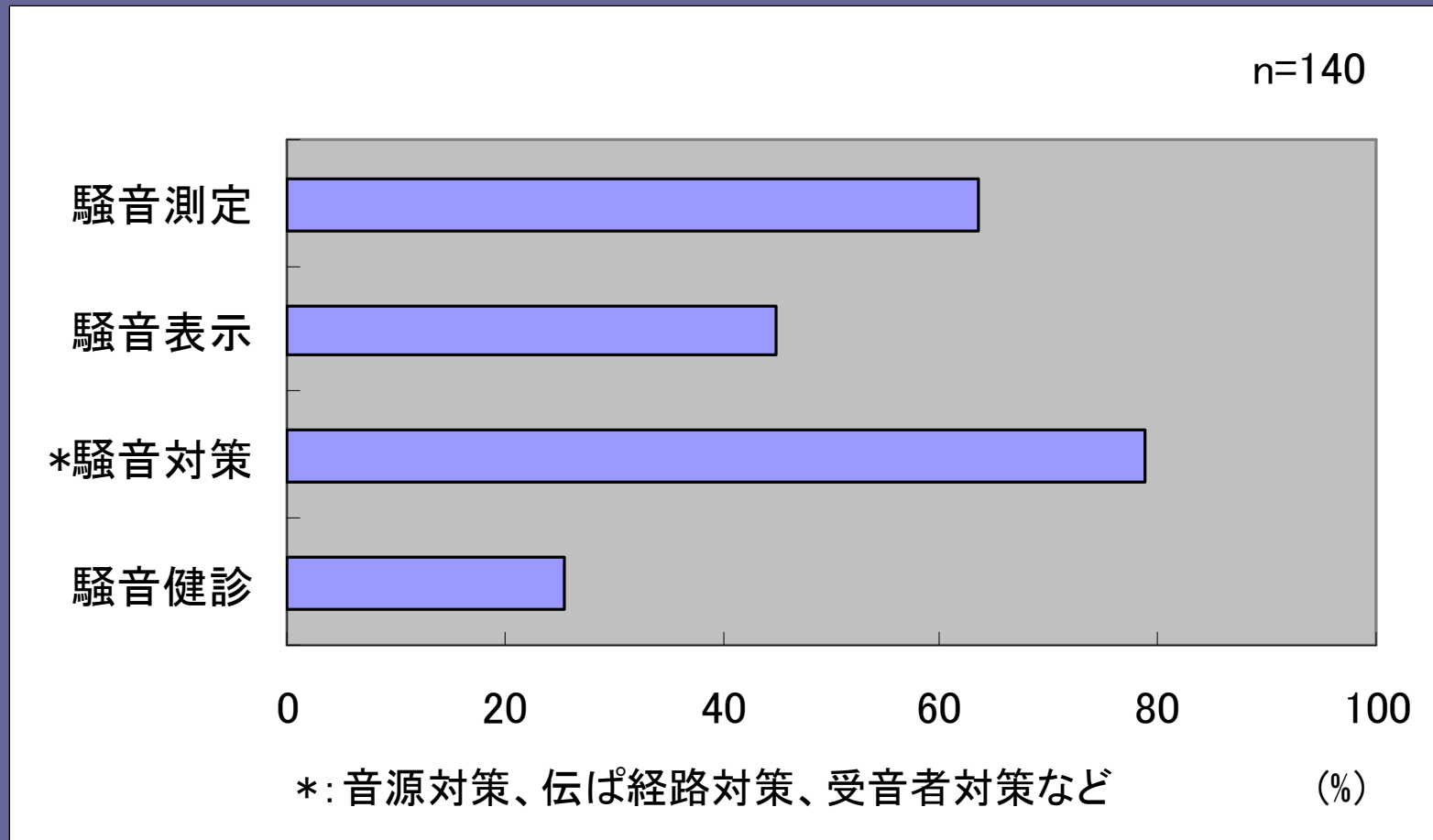
# 騒音職場管理の確立について



# 当センターへの騒音障害防止に関わる要請



# 騒音職場の三管理





# 事業場規模と騒音職場の管理

## 事業場規模(人)

	1～49	50～299	300～	(%)
労働衛生管理体制	52.1	100.0 *	100.0 *	
「ガイドライン」認知	27.9	51.6 *	81.0 *	
騒音測定	34.9	84.4 *	90.0 *	
騒音表示	20.9	51.6 *	90.5 *	
騒音対策	67.4	93.7 *	95.2 *	
騒音健診	11.6	20.3	57.1 *	

\* :  $p < 0.05$

## 不十分な管理状況を打開するための方策

- 地域産業保健センター：  
小規模事業場への働きかけ
- 産業保健推進センター：  
事業主セミナーや事業場への講師派遣を通して  
の「ガイドライン」の啓蒙
- 行政：  
騒音健診を必須とした指導の徹底

## まとめ

- 埼玉県における製造業の有害業務としては、騒音作業が最多であった。
- 騒音職場の三管理のうち、聴覚管理が最も立ち後れていた。
- 三管理が不十分となる背景には、事業場規模が小さいほど労働衛生管理体制が整わないという傾向があった。
- 不十分な管理状況を打開するための方策としては、地域産業保健センター、産業保健推進センター、行政の取組、法整備が必要と考えられた。